

## 令和7年度 FD・SD 活動報告書

### 1. 本学における FD・SD 活動の目的

FD 活動は、組織的な研修・研究の実施を通じて、本学教員の教育及び研究力の向上を、SD 活動は、教職員の研修を通して、能力・資質の向上を図るとともに、本学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図ることを目的とする。

### 2. 活動方針

以下の活動について研修会等を企画・運営し、教職員の能力や資質の向上及び教育研究活動の効果的な運営を図る。

- 1) 教員の研修
- 2) 教員の研究活動の推進
- 3) 教員の国内外研修及び学位取得の促進
- 4) 職員の SD 研修
- 5) FD 活動推進のための調査研究

### 3. 主な活動内容

1) FD・SD 委員会を 4 回(昨年度 9 回)開催し、研修の企画、授業評価アンケート実施等を行った。

2) 各種 FD・SD の実施状況

2025 年度（令和 7 年度）FD・SD の実施状況に記載の通り

3) FD 活動推進のための調査研究

①北海道 FSDS 研修会への参加：6 月 6 日

4) 学生による授業評価について

①学生による授業評価アンケート実施要項の作成

### 4. 成果と課題

1) 今年度の成果

新任研修に関しては、昨年度と同様に着任直後に本学ならびに名寄市の理解を深めることに努めたが、前期終了後に教育や研究に関する振り返りについては実施しなかったことについては大いに反省すべき点である。教育に関する研究に関しては、2 回とも外部講師による研修であり、いずれも今後の大学がどうあるべきかについての内容であった。研究に関する研修は学術支援等特別枠報告会のみであった。支援の配分については、本委員会とは関係なく学長の裁量によるものであるが、成果報告を研修に位置づけることによって、多くの教員(参加教員数は 39 名)の研究に対する意欲が高まったといえる。

2) 次年度に向けての課題

大学設置基準第 25 条の 2 ならびに、第 42 条の 3 の規定に基づき、FD・SD 活動を推進するために FSDS 委員会を設置しているものである。従って、全ての教職員が研修に参加して欲しいところであるが、参加者が多くないのが実情である。今年度受審した認証評価においても、今後の進展が望

まれる点として「FD 及び SD については、教職員の意識共有を踏まえ、教職協働の観点から、実施方法・内容や参加促進等、組織的な FD・SD 活動が望まれる」と指摘されていることを重く受け止め、研修等の有り方についての検討が課題である。